

リゾート会員権が上昇

4カ月ぶり 4%高、高価格帯に取引

リゾート会員権の販売を仲介するe会員権(横浜市)がまとめた3月の会員権の平均価格は前月比14万円(4%)高の352万円だった。上昇は4カ月ぶり。気温の上昇とともに会員権の需要が高まり、300万円以上の高価格帯の取引が成立

したことが平均単価を押し上げた。リゾート会員権は會員制のホテルや施設を利用できる権利で、仲介会社などを通じて購入する。会員権の保有者は年会費などを支払い、年間の規定の日数まで安く宿泊できる。会員権価格は基本的に市場に出る売り希望値ベースで算出される。

リゾートトラストが運営する「東京ベイコート倶楽部」のロイヤルスイートの1000万円以上の会員権などが上昇し、相場をけん引した。これまで市場にあまり出ていなかったこともあり、買

い需要がみられた。関西圏のベイコート倶楽部では、東京や横浜の施設と比べた割安感から買われたものもあった。3月の取引件数は2月比で1.5倍に増えた。「気温の上昇とともに消費者の行動が活発化し、会員権市場にも動きが戻った」(e会員権の涌井智子代表) ようだ。

100万円未満の低価格帯の取引も目立ち、取引全体の43%を占めた。リゾートトラスト運営の「エクシブ」の交換グレードCなどが買われた。